

Ellis's Story 【No.4】

「Japanese is difficult but fun」



日本の学校は、4月に1学期が始まり、3月に3学期が終わります。しかし、アメリカの学校は、9月に始まり6月で終わり、約2カ月半の夏休みに入ります。また、私が通っていた大学は特別で、4月から9月までの間が夏休みだったので、私は夏休み期間中、洋服屋さんでアルバイトをしていました。

私の周りの生徒や先生が英検を受験し、「合格した」という嬉しい報告をたくさん耳にしました。私も皆さんに負けずに、もっと日本語の勉強を頑張ろうと感化されています。

私は今年の7月に日本語能力試験(JLPT)を受験するため、毎日勉強に励んでいます。試験では、語彙、文法、読解、聴解の問題がとても難しいです。さらに、一番難しいのが漢字です。英語はアルファベット26文字ですが、日本語にはひらがな、カタカナ、そして漢字があります。漢字は数えきれないほどたくさんあるので、日本語を勉強している外国人にとって、最大の難関なのではないでしょうか。また、漢字には「音読み」と「訓読み」があるので、いつどっちを使ったらいいのか、分からない時が多々あります。しかし、日本語は難しい分やりがいがあるので、楽しみながら勉強しています。

生徒たちは、よく「English is difficult (英語は難しい)」と言っています。私も日本語が難しいと思っているので、お互い頑張りましょう。エリスもファイティングしていますよ！

3月には、小学6年生と中学3年生が卒業しますね。仲良くなった生徒たちと会えなくなるのが少し寂しいですが、今まで英語の勉強を頑張ってくれて、感謝しています。中学生の皆さん、高校でも英語を頑張ってくださいね。応援しています。英語の質問があったら、いつでも遊びに来てください。待っています！ Good luck in the future!

Ada's Story 【No.4】

「St. Patrick's Day」



アメリカでは3月17日に、「セント・パトリックス・デー」というお祭りがあります。この日は、アイルランドにキリスト教を広めたことで知られる聖人「聖パトリック」の命日であり、アイルランドの祝日です。また、聖パトリックは、アイルランドから蛇を追ひ払ったことでも知られ、移民の多いアメリカでは、その功績を称え、国を挙げて盛大に祝います。

祭り当日、多くの人はアイルランド料理を食べたり、アイルランド発祥の「ギネスビール」を飲んだりします。さらに、街全体がシンボルカラーである「緑色」で彩られます。中には、川や噴水を緑色に染める街まであります。なぜ緑色なのかというと、聖パトリックがキリスト教を布教する際に、キリスト教の大切な教えである「三位一体」を、三つ葉のクローバー(シャムロック)を使って説明したことから、「三つ葉のクローバー」がシンボルとなっているためです。また、三つ葉のクローバーを見つけると、幸運に恵まれると言われていています。

私の家族の祖先はアイルランド人なので、家族全員「セント・パトリックス・デー」が大好きです。アメリカでは、祭りの日に緑色のものを身に付けていないと、つねられる遊びがあるので、この日は皆緑色のものを身にまとっています。また、私がこの日一番楽しみにしているのは、家族全員でアイルランドの郷土料理である「アイリッシュシチュー」を作ることです。材料は、コーンビーフ(牛肩バラ肉をスパイスと塩水に漬けたもの)、ジャガイモ、にんじん、玉ねぎ、そして、サボテン。時間をかけてじっくり煮込むので、とても美味しいです。さらに、アイルランドのパンも焼きます。シチューにつけて食べると絶品です。翌日の朝ご飯は、前日の材料の残りとお卵を炒めたものを食べます。

皆さんもぜひ一度、アイルランド料理を召し上がってみてください。

◆ Ellis & Ada's English phrase of the month ◆

ここでは、日常生活でよく使われ、覚えておくと便利な英語のフレーズを紹介します。

「Let's hang out!」 意味: 「遊ぼう!」

例) A: I have no plans this Saturday so I'm wondering what to do.
(今週の土曜日暇だからどうしようかな)

B: Let's hang out at the park! (公園で遊ぼう!)

